

様式3（第8条関係）

地域づくり協議会提案事業計画書

平成26年9月30日

一宮市長 谷 一夫 殿

協議会名称 西成連区地域づくり協議会
住 所 一宮市浅野字水法110番地1
代表者氏名 江 口 英 機

一宮市地域づくり協議会設置要綱第8条第2項の規定により、提案事業を実施したいので計画書を提出します。

記

事業名称	安心・安全で「絆」ある快適な地域づくり事業 ～ 地域防災力アップ推進事業（27年度）～ 防災講演会等リーダー養成 避難所開設訓練等（宿泊型・半日型）
事業実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
添付書類	1 提案事業計画（総括） 2 地域防災力アップ推進事業 （事業計画・年度別計画）

西成連区地域づくり協議会提案事業計画（総括）

平成27年度事業計画（総事業費 1,198,000円）

安心・安全で「絆」ある快適な地域づくり事業
 地域防災力アップ推進事業（避難所開設開設訓練等）
 地域防災リーダー養成

危機管理室、日赤奉仕団等の協力をえて「備蓄機材取扱い訓練」「炊き出し講習会」「自主防災リーダー養成研修」など各種講習会で地域防災リーダー養成に努める。

大地震を想定し、住民参加の避難所開設、運営訓練の実施

赤見小学校で簡易防災備蓄倉庫資材を利用し、避難訓練及び避難所開設訓練、炊き出し、簡易トイレ組立、救急法訓練のほか宿泊体験を行う。

西成東小及び浅野小学校にて、半日型の避難訓練・開設訓練、炊き出し、救急法、簡易トイレの組立訓練を行う。

費目	支出内訳	金額(円)	備考
事務費	会議費・資料作成	32,732	
事業費	食材(米 カレー)	89,400	750人
	食器類	16,524	
	飲み物	58,950	3校分
	燃料費	22,500	3校分
	朝食(パン)	28,800	宿泊150人
	飲み物	11,250	150本
	毛布クリーニング・パック代	275,400	
	敷マット	153,900	
	ブルーシート	44,064	60枚
	資機材補充その他諸費	45,000	
	講習会	35,000	
	LEDライト付ネスルホイッスル	113,400	
	防災・減災啓発情報全戸配布	98,280	A4 4P
	防災リーダー用ベスト(名入り)	172,800	80着
	合計	1,198,000	

提案事業年度別計画（27年度）

地域防災力アップ推進事業 ～宿泊型・半日型防災訓練～

平成 26 年 9 月

27年度提案事業の事業計画・予算について協議して9月末提出に向け最終実施事業計画を策定する。

27年宿泊型訓練実施日決定

宿泊型 赤見校区 赤見小学校 6月6日（土）～7日（日）

半日型 西成東 西成東小学校 6月13日（土）

浅野 浅野小学校 6月20日（土）6

平成 26 年 11 月 自主防災講演会（危機管理室）に多数のメンバーの参加を要請する。日赤炊き出し訓練に参加を要請

平成 26 年 12 月 13 日と 27 年 2 月 14 日

次年度防災訓練開催校区を対象に防災講演会を西成東部中学校と浅野小学校で開催（26年度事業）

平成 26 年 12 月

自主防災リーダー研修会 {2日間} に浅野・赤見・西成東小校区で複数以上の参加を要請する。（本庁舎・危機管理室）

平成 27 年 2 月 開催小学校区ごとに「次年度防災訓練開催」に向けての事前会議開催

平成 27 年 3 月 地域づくり協議会予算に計上（27年度事業）

平成 27 年 4 月 地域づくり協議会提案事業特別交付金の補助金等交付金申請
町会長協議会・民生児童委員協議会・老人クラブ連合会その他関係団体等の理解を深めるための働きかけを実施

訓練開催校区（赤見・西成東・浅野）関係役員会議開催

平成 27 年 5 月 簡易備蓄機材の訓練日程の決定（危機管理室に依頼）

平成 27 年 11 月 自主防災講演会（危機管理室）開催の際には多数のメンバーの参加を要請する。

平成 28 年 1 月 防災講演会の開催や2月の自主防災リーダー研修会 {2日間} に参加を要請する。（危機管理室）

次年度（28年度）以降の「防災」訓練等について方向性の決定協議

平成 28 年 3 月 事業完了（28年4月に完了報告）

安心・安全で「絆」ある快適な地域づくり事業

地域防災力アップ推進事業・避難所開設等訓練（宿泊型・半日型）

1 目的

南海トラフの大地震が話題になるなど、3.11以降住民の震災に対する関心は高いものがありこの期に およそ19年前の阪神淡路大震災のような住宅の倒壊・火災・ライフラインの途絶などにより自宅で生活できないことを想定して、避難所の生活環境に対応するため 地域住民 町会長協議会（自主防災会） 地域づくり協議会 その他防災関係機関が、これら災害に即した訓練を行うことにより、それぞれの役割を確認する。

災害には「自助・共助・公助」が大切といわれる。とりわけ「自助」・「共助（近助）」～向こう三軒両隣～が重要であり 今回の避難所開設訓練等を通じていろいろ体験し、情報（防災知識）をえて「いざという時に備える」

2 内容

西成連区は5小学校、3中学校 35,000人 13,000世帯 面積11.1km²と大きな連区であり 災害時の地域活動の主体は5小学校区が中心となる。平成26年度には宿泊型（避難所開設）訓練等を瀬部小学校で実施し西成小学校区では半日の避難訓練等を実施した。

前年度の反省をもとに、27年度は 赤見小学校（宿泊型）、西成東小学校・浅野小学校（半日型）の避難所開設訓練等を実施する。

3 訓練日時（例示）

大地震が発生し市内全域において家屋の倒壊や多数の死傷が発生

1) 地震発生 平成27年6月6日（土）14時46分（震度6強）

2) 訓練日時（宿泊型） 6月6日（土）14時46分

～7日（日）7時30分

（半日型） 6月20日（土）14時46分～18時

3) 参加人員 250名前後

特に、小学生高学年及びその家族の希望者を募る。

4) 実施時期 実施校区の実情に合わせて実施時期を決める

27年度 赤見小（宿泊型） 西成東小・浅野小（半日型）

4 訓練内容（指導団体）

1）住民避難訓練（消防団 消防署 警察署）

住民が町内ごとに一時避難所（公園等）に集まり、災害時要援護者の安否確認のうえ 避難所小学校に参集する。また一時避難所で町内ごとの避難人数を確認する。

2）避難所開設・運営訓練（危機管理室 小学校）

避難所開設の流れを災害発生を想定してシミュレーションする。

校門 体育館出入り口の開錠 有資格者が体育館の危険度判定、その後運営マニュアルにより運営 { 県マニュアル準用 } 避難民の確認等

（避難所開設支援訓練）

- ア 総務班 全般的な運営管理
避難所の設営（レイアウト 仕切り壁 シート等）
- イ 名簿班 避難民の名簿作成 問い合わせの対応
- ウ 食糧物資班 食糧の調達 受け入れ 管理 炊き出し
- エ 救護班 高齢者、障害者、負傷者等の対応
- オ 衛生班 トイレ ごみ 清掃 飲料水の管理
- カ 情報連絡班 生活情報の提供 外部との対応

3）避難所資器材取扱い訓練

- ア 炊き出し訓練（日赤奉仕団）
- イ 発電機 投光器の取り扱い トイレ組立（危機管理室等）

4）応急手当訓練・救命講習（消防署・消防団）

5）物資の受け入れ 配給訓練（危機管理室 出張所）

6）防災講座（危機管理室）

5 その他関連事業

1）各種の行催事に防災・減災を念頭に情報提供

- ア 防災減災資料の配布

2）地域リーダーのベストや防災用品（笛）

防災等地域活動啓発のためのベスト「にしなり」の作成や参加者や災害時要援護者に対して防災用具（笛）を配布して啓発活動に資する。

6 事業実施のための関係団体

町会長協議会（自主防災会）
小中学校
出張所（危機管理室）
消防署（消防団）
日赤奉仕団
地域づくり協議会（安心安全部会等）

7 事業に要する積算基礎

米	@ 300 × 113 kg =	33,900円	
カレー	@ 74 × 750袋 =	55,500円	
飲み物	@ 1,800 × 39ケース =	70,200円	24本入り
皿	@ 756 × 15ケース =	11,340円	50個入り
スプーン	@ 648 × 8袋 =	5,184円	10個入り
燃料	@ 7,500 × 3校 =	22,500円	
パン	@ 192 × 150人分 =	28,800円	
毛布クリ	ニングと真空パック		
	@ 1,836 × 150 =	275,400円	
敷きマット購入			
	@ 1,026 × 150 =	153,900円	
ブルーシート購入（3.6m × 5.4m）			
	@ 7,344 × 6 =	44,064円	10枚入り
資機材補充その他諸費			
	@ 15,000 × 3校 =	45,000円	
ベスト（にしなり）			
	@ 2,160 × 80着 =	172,800円	
講習会諸費		35,000円	
減災防災情報全戸配布			
	@ 7.56 × 13,000 =	98,280円	
LEDホイッスル			
	@ 151.2 × 750 =	113,400円	
会議費・資料代等		32,732円	
	計	1,198,000円	